

ジェリー・フィッシュ (2013)

メディア 映画
ジャンル ドラマ 青春 エロティック
製作国 日本
色彩 Color
時間 92分
初公開日 2013/08/31
公開情報 よしもとクリエイティブ・エージェンシー
映倫 R18+

【キャッチコピー】
生きてることを感じる瞬間

【解説】
新潮社主催の“女による女のためのR-18文学賞”応募作の映画化シリーズ第2弾。弱冠16歳で書き上げ、みごと第11回の最終候補となった雛倉さりえの同名短編を、「1999年の夏休み」「DEATH NOTE デスノート」の金子修介監督で映画化。男とのセックスに満たされず、女同士で求め合う思春期の少女の危険な愛の彷徨を繊細かつ透明感あふれるエロティシズムで綴る。ともにこれが映画初主演となる大谷滯と花井瑠美が愛と性に揺れる思春期の少女を体当たりで熱演。
クラスメイトたちに馴染めず、孤立を深める女子高生の宮下夕紀。ある日、水族館でクラゲの水槽を眺めていた彼女は同級生の篠原叶子に声をかけられ、いきなり唇を奪われる。以来、戸惑いながらも叶子に強く心惹かれていく夕紀。ところが突然、叶子は男子生徒の告白を受け入れ、付き合うようになる。一方、夕紀の心は激しくかき乱されてしまうのだったが…。

【クレジット】

監督	金子修介	Shusuke Kaneko
プロデューサー	仲良平	
原作	雛倉さりえ	『ジェリー・フィッシュ』
脚本	高橋美幸	
撮影	鏡早智	
美術	福田宣	
編集	洲崎千恵子	
音響効果	中村佳央	
製作統括	岡本昭彦	
照明	岡元みゆき	
録音	坂上賢治	
整音	尾崎聡	
装飾	野村哲也	
助監督	井上雄介	
制作企画	奥山和由	Kazuyoshi Okuyama
出演	大谷滯	宮下夕紀
	花井瑠美	篠原叶子
	川田広樹	
	川村亮介	

奥菜恵
秋本奈緒美
竹中直人
柿本光太郎
千大佑
りょう (L.A.F.U.)
清水真緒
仲田つばさ
桑名里瑛
山下春花
野見隆明
松林慎司
中村映里子